大森勝久君は無実だ!!

〔８７年国際連帯フリーオオモリ三月行動〕

岐阜救援会、愛知救援センター、北海道救援センター
札幌救援会、八組通信などで、救援公判対策開始。

▲77年２月24日▲札幌地裁において公判開始。
大森くん、デッチあげ弾圧を糾弾。

▲80年12月２日▲弁護側反証開始。

▲82年６月18日▲第122　回公判で結審。

▲82年９月28日▲検察、大森くんに死刑求刑。

▲82年12月23、25日、83年１月16日▲最終弁論。

▲83年３月29日▲裁判長生島、大森くんに死刑判決。
大森くん、弁護団ただちに控訴。

▲84年６月12、13日▲控訴審開始。

▲85年３月29日▲死刑判決糾弾集会。

▲86年８月10日▲国際連帯行動。世界各地で抗議行動がとりくまれる。

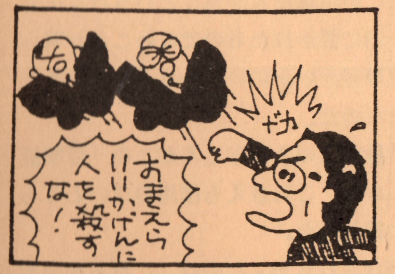
▲86年12月18日▲大森くんの本人尋問はじまる。

▲87年２月11日▲フリーオオモリ札幌集会。

▲87年３月28日▲無実なワケ・ナルホド集会。札幌高裁の早期結審 ― 弁論策動を糾弾。

▲87年５月７日▲第39回公判で結審、８月を弁論期日に指定。

これを読んで「ん!」と思われた方へ…



★このリーフレットを友達に渡して、大森くんの事件を広めて下さい。

★大森くんの支援をしている「森を守る会」に参加しませんか。

●東京 ⟶ 森を守る会
東京都世田谷区千歳郵便局私書箱35号
月刊のニュース「やってない俺を目撃できるか」を出してます。（半年￥1000）

FREE OMORIのＴシャツも販売しています。（ ￥700 ）

★カンパの切手を同封して、連絡して下さい。

＝ 弁論と判決を夏から秋に強行させようとしています。 ＝

もっと証拠調べを!

札幌高裁・裁判長、水谷に要求していこう。
住所：札幌市中央区
札幌高等裁判所・水谷　富茂人あて

弁論・判決公判の傍聴準備をしよう！
サッポロ迄、交通費は３万～５万かかります。

えっ やってないのに死刑だって!?

大森くんに手紙を書くと、彼よろこぶぞー！
あて先→札幌市東区東苗穂２条１－１－１
大森勝久くんへ

森を守る会　87・6

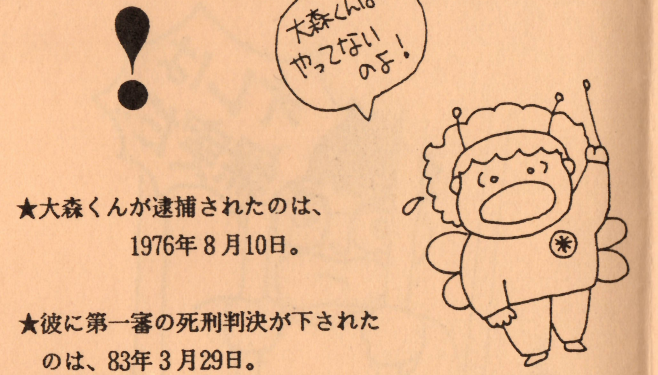
（北海道庁爆破でっち上げ死刑判決を許さない連絡会議）

東京・千歳郵便局私書箱35号

郵便振替：東京 0－139871

大森勝久くんは、いま、札幌拘置所に「死刑」判決をうけて閉じこめられている！

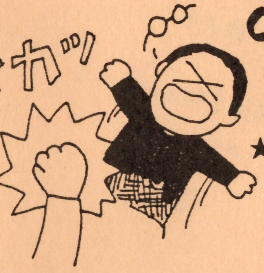
★彼がやったとして逮捕された事件 ——
道庁爆破事件がおこったのは、1976年3月2日。



★大森くんが逮捕されたのは、
1976年8月10日。

★彼に第一審の死刑判決が下されたのは、83年3月29日。

ひどいデッチあげの取り調べだった



★警察官は大森くんをなぐり、脅かしすかして「俺がやった」と言わせようとした。しかし、大森くんは屈しなかった。

★そして、「自白」も証拠もないまま、「犯人」とされてしまった！

★大森くんの「共犯者」とされていた加藤三郎さん（83年5月逮捕）のアリバイが控訴審で明らかになった。

★「目撃証人」が作ったモンタージュ写真（それも逮捕後のもの）は大森くんと加藤さんそっくりにつくられていたのに……。★いない人がどうして目撃されるの？？

裁判もひどかった！

★またこの目撃証人が見たというバッグも道庁エレベーター前に置かれたものでないことが明らかになった。★目撃者がいかにいいかげんかということなのだ。

★たったひとつの検察官のよりどころがこの「目撃証人」だった。しかし、これさえも信用のないとても不自然なものに終わった。

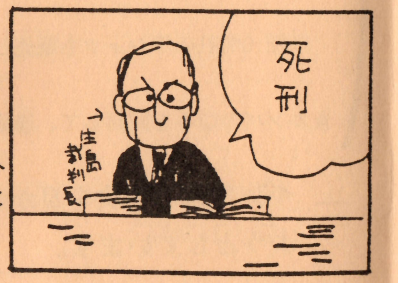
★また爆弾材料などが押収されなかったのは、これらが全部使用されたからだとウソのうわぬりを重ねた。

★「持っていない」誰もが犯人とされてしまう。

★声明文（タイプライター）に書かれた手書きの＊印の筆跡鑑定でも「いずれも本人のものでないと結論していない」として、大森くんが書いた、と結論するまったくヒドイこじつけだった。

★このデッチあげのために、多くの検察側証人が登場し、適当なことをしゃべった。

★だが、デタラメを話した証人たちは、大森くん自身の質問にあって、つじつまが合わなくなった。



★デッチあげの筋書きは崩れているのだ！

★しかし、裁判官は、検察官すら「糸と麻をよりあわせた」と自ら言うようなデッチあげの内容を、推論だけで認定したのだ。

★新聞でさえも『大森、無実か』と言ったほどなのに

★裁判官は判決のなかで、大森くんの「反社会的思考・性格は矯正不可能」だから「社会防衛の見地から厳罰が必要」などと言った。

★どうしてこんなことで、無実の人が死刑にされるのか！！

大森勝久くんってどんな人？

★1949年生まれ。リッパな日帝人民の一人に成長してしまう。68年、岐阜大学教育学部に入って、やっとこさ政治意識にめざめる。（オソイ）72年、反日の考えを持つに至り、大卒の特権を否定し、反日を血肉化していくために土方になっていく。またヒッピーになる。山谷・釜ケ崎などの寄せ場でも生活、活動。その後、非公然反日ゲリラ闘争をめざしていくが、76年デッチ上げ逮捕 ——死刑を宣告される。（本人記）

★大森勝久くんのメッセージ★

ヤッホー！“日本人”が内部から日本人（日本国）と闘い、倒していく革命が反日だ、と俺は考えておるよ。道庁爆破の声明文は、「反日闘争」と言われてはいるが、反日＝日本の亡国ということは述べられていないので、その点で、不十分さはあると思うな。でも俺は、この闘いを支持しているよ。少しでも多くの、いろいろな考えを持っている人と友達になれて、一緒に生きていけたら、俺は幸せだよ。友達になろうぜ！

▲76年3月2日▲午前9時頃、北海道庁内1階で時限爆弾爆発 ——
昼頃、地下鉄「大通駅」のコインロッカーから、テープライターによる〔東アジア反日武装戦線〕名の爆破声明文発見。
「全ての友人の皆さんへ。私達日帝本国人はアイヌ・沖縄人民、朝鮮人民、台湾人民、部落民そしてアジアの人民に対する日帝の支配を打ち砕いていかねばならない。……道庁を中心に群がるアイヌモシリ（北海道はその一部）の占領者は第一級の帝国主義者、侵略者である。……（原文カタカナ）

▲76年8月10日▲苫小牧のフェリーターミナルで、札幌市に住んでいた、大森勝久くんが逮捕状も見せられずに道警により、札幌中央署へ強制連行される。

▲76年9月23日▲「道庁」爆破〔爆取1条、殺人罪、殺人未遂罪ーいずれも死刑を含んでいる〕で、デッチあげ起訴される。物証、供述調書、何もなし。

▲76年10月▲爆取弾圧と闘う救援会議、救援連絡センター、